



大型トラクターを乗りこなしている代表取締役

経営概要

- ◆代表者、所在地
代表取締役 南出千晶、 三重県伊賀市
- ◆設立年
令和5年11月
- ◆経営規模
飼料用 (WCS) の 水稲 5 ha 及び 大麦 5ha
- ◆従業員数
正社員 1名、パート・アルバイト 2名
- ◆事業内容
WCS用水稲及び大麦を使ったWCSを中心とした農産物の生産に取り組む。

1 現状及び相談内容

南出氏の実父は、水稲作及び稲・麦のWCS生産を中心とした大規模な地域の担い手経営者である。南出氏の就農を機に、経営継承を見越して、法人化の相談があった。

持続可能な経営の実現に向け、法人化や円滑な経営継承、経営基盤強化、人材の確保・定着に必要な就業環境の改善が課題だった。

2 支援内容

三重県農業経営・就農支援センターと普及センターが連携し、持続可能な経営を目指し、経営規模拡大に向けた課題の分析及びその解決に向けた取組計画の策定等について助言を行った。

その後、司法書士から、法人形態や設立時期、定款作成等に関する助言を行った。また、社会保険労務士からは、人材確保と定着に向けた就業規則の作成や労務環境の改善等に関する助言を行った。

3 人材の確保・育成に資する取組

★「働きやすい職場環境づくり」のために育児休業等を盛り込んだ就業規則を整備

■就業規則整備による「労務環境改善」

持続可能な経営を実現するためには、人材の確保・育成が重要と考え、社会保険労務士と連携して働きやすい職場環境の基礎となる就業規則を作成した。具体的には、育児等の個人のライフイベントに合わせたフレキシブルな勤務体系の導入や就業時間の明確化、農作業の繁閑を考慮した上での週休2日制の導入を行った。

■規模拡大と生産性向上による「経営基盤強化」

持続的な雇用に向けた経営基盤の強化のために稲・麦WCS生産の規模拡大と収量及び品質の向上が必要だと考えて策定し生産計画に基づき稲WCSの専用収穫機を導入し、規模拡大と生産性向上を実践した。



代表取締役がラッピングマシンを操作している様子

今後の意気込み

法人化を契機として課題に取り組めたことから、今後、徐々に全事業を継承し、持続可能な経営体をめざします！

専属スタッフ所感

持続可能な経営の実現に向けて、計画に沿って着々と取組を進めており、感嘆しております。 今後は、特に経営を左右する人材の定着・育成に向けて、従業員に対する経営者の期待が伝わる取組に注力していただくことを望みます。